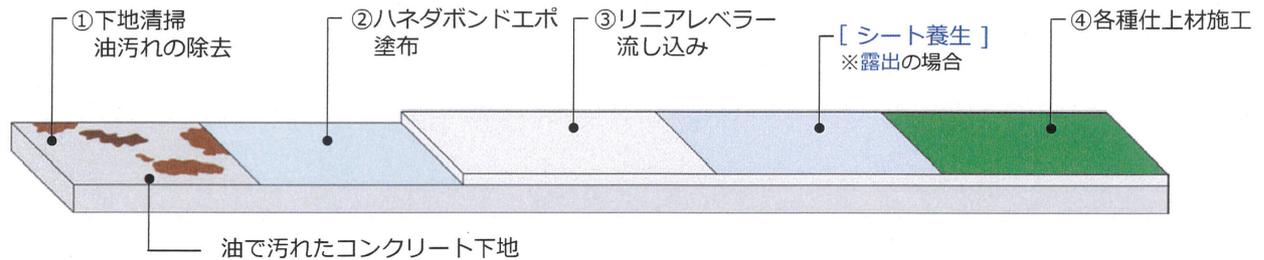


リアレベラー

施工マニュアル No.7

油で汚れたコンクリート下地に 施工する方法



水性エポキシプライマー ハネダボンドエポ 1.2kgセット ■主剤1kg缶 ■硬化剤0.2kg缶 3.6kgセット ■主剤3kg缶 ■硬化剤0.6kg缶	高強度・超速硬セメント系セルフレベリング材  リアレベラー 20kg/袋	標準施工面積 5mm厚 約2㎡ 10mm厚 約1㎡
--	---	---------------------------------

標準仕様

工程	配合比	使用量 m ² あたり	施工道具	次工程までの 施工間隔
① 下地清掃 油汚れの除去			油汚れ用クリーナー ポリッシャー	乾燥後
② ハネダボンドエポ 塗布	主 剤 1kg 硬 化 剤 0.2kg 水 0.5kg	塗布回数 1回 塗り面積 約10㎡	ゴムゴテ ゴムレイキ 刷毛	べたついてきたら (※)
③ リアレベラー 流し込み	粉 体 20kg 水 3.6~3.8L	塗布回数 1回 塗り厚 3~50mm	高速ハンドミキサー 練り容器 グラウトミキサー 均し道具 (トンボ)	硬化乾燥後 (養生時間の目安参照)
⑤ 各種仕上材施工	・張物施工 (長尺シート・Pタイル) ・塗り床施工 (エポキシ系・ウレタン系)			

(※) セロテープに触った時のように、べたつきはあるが指についてこない状態

※ 露出の場合

露出の場合は、『シート養生』が必要です

リアレベラー流し込み後軽歩行が可能になったら、1時間以内にシート養生してください。
表面強度が格段にアップします。

※セメント系の材料のため、加水量や施工状況により、色の濃淡、ムラ、白華などが生じることがあります。
ご了承ください。

養生時間の目安

施工厚5mm、湿度RH65%の場合

項目	20℃以上	10~20℃	5~10℃	5℃以下
軽歩行時間	3時間	4時間	6時間	施工不適當
張物施工	7時間	12時間	18時間	
塗り床施工	24時間以上			

リニアレベラー

施工マニュアル No.7

油で汚れたコンクリート下地に 施工する方法

2 / 2

事前確認

- 施工厚み、面積の確認を行い、ハンドミキサー、グラウトミキサーのどちらを使用するか決定してください。
- 塗り厚が10mm以上の場合は、流し込み順序、堰板の設置などの施工方法について十分に検討してください。
- 作業場所の温度が5~30℃であることを確認してください。5~10℃の場合は練り水を30℃位にしてください。

事前処理

- レイタンスや汚れ、コンクリートの弱い部分はポリッシャーで削り取ってください。
- クラック、取り合いなどの隙間は補修を行い乾燥させます。
- 1~2m間隔で墨出しをしてアタリをとってください。

施工手順

1. 下地清掃 油汚れの除去	<p>表面に付着している油は、油汚れ除去クリーナー（常盤化学のバンライズD-20を推奨）を使用し、ポリッシャー等で洗い落とし、水で洗浄後、出来る限り乾燥面に近づけてください。</p> <p>※ポリッシャーのパッドは、スコッチ・ブライトフロアパッド 品番：ハイプロパッドを推奨します。</p> <p>必要な場合は、ライナックスまたはカップサンダーなどで表層を削り取り、ホコリがないように清掃してください。</p>
2. ハネダボンドエポ 塗布	<p>ゴムゴテ、ゴムレイキ、刷毛などでハネダボンドエポを下地にすり込むようになるべく薄く塗布してください。</p> <p>べたつきはあるが指についてこない状態になったら、リニアレベラーを塗布してください。ハネダボンドエポが乾燥してもリニアレベラーは塗布できます。</p> <p>【注意】油汚れがひどい場合は、油のしみだしを防止するため、2回塗りしてください。1回目を塗布し、乾燥させます。翌日2回目を塗布し、べたつきはあるが指についてこない状態になったらリニアレベラーを塗布してください。</p>
リニアレベラー 混練り	<p>混練り水量は、粉体20kg/袋に対し、水道水3.6~3.8Lです。</p> <p>混練り時間は投入完了後3分が目安です。高速回転のハンドミキサー（600回転/分以上）もしくは、グラウトミキサーを使用してください。</p> <p>混練り容器に所定量の水を先に投入し、攪拌しながら粉体を徐々に投入し、ダマを作らないように混練りしてください。</p> <p>リニアレベラーは30分以内に使い切ってください。30分を経過すると流動性がなくなってきます。</p>
3. リニアレベラー 流し込み	<p>一か所に流し込まずに、墨やアタリを目印に均一に流し込みます。流し込み後は速やかにトンボなど均し道具で平坦に仕上げてください。</p> <p>施工する面積が広い場合は30㎡~50㎡毎に堰板を設置してください。打ち継ぎは15分以内に行い、打ち継ぎ部分はトンボなどでならしてください。</p>
4. 各種仕上材施工	<p>リニアレベラーが十分に硬化乾燥したら、仕上材を施工します。</p> <p>メーカーの仕様に従い施工してください。</p>

■ 上記仕様は予告なしに変更する場合がございます。施工前に最新の仕様をご確認ください。

【技術関係問い合わせ先】 ■株式会社ハネダ化学 技術研究所 TEL.0555-84-8070
■株式会社ヤブ原 本社 東京都中央区八丁堀2-14-4 TEL.03-3552-4310

◇中央支店 [東京事業所] 03-3552-4315 [北関東事業所] 0480-58-6311 [南関東事業所] 042-700-1200 ◇大阪支店 06-6385-6211
◇仙台支店 022-298-6165 ◇名古屋支店 052-703-0303 ◇福岡営業所 092-629-0416 ◇札幌営業所 011-731-0222